

熊本大学

「女性研究者賞表彰」及び「女性研究者奨励賞表彰」表彰式及び研究発表会を実施

熊本大学は2月14日、平成29年度「女性研究者賞表彰」及び「女性研究者奨励賞表彰」表彰式及び被表彰者による研究発表会を開催した。

本学では、男女共同参画推進に関する優れた取組に対し、大学として表彰を行うことを熊本大学男女共同参画推進基本計画に謳っており、これに基づいて平成28年度に本表彰制度が創設された。今回は昨年度に引き続き、第2回目の実施となった。

被表彰者の公募は熊本県内の女性研究者を対象にして昨年10月から11月にかけて行い、熊本県内から優秀な女性研究者の応募が多数あり、選考は大変有意義なものとなった。

厳正な選考の結果、女性研究者賞表彰1名、女性研究者奨励賞表彰1名を選出し、今回表彰することとなった。

表彰式では、原田信志学長から、「今後、この表彰を、熊本県内の女性研究者の研究力向上に繋がるものとして発展させていくことを期待する」と挨拶があり、被表彰者に表彰状及び副賞として熊本県の伝統工芸品である肥後象嵌のアクセサリーが贈呈された。

引き続き、被表彰者による研究発表会が行われ、女性研究者賞表彰被表彰者の西園祥子氏は「地域の特産品を活用した機能性食品の開発」、女性研究者奨励賞被表彰者のAzzah Dyah Pramata（アザー・ディア・プラマタ）氏は「Photochemistry Interaction Analysis of Quantum Dots/Polyoxometalate System for Memory Device Application」と題し、それぞれ研究発表を行った。



右から、宮瀬美津子学長特別補佐、山崎広道人事・労務担当理事、Azzah Dyah Pramata（アザー・ディア・プラマタ）氏、原田信志学長、西園祥子氏、松本泰道研究・社会連携担当理事